

副首都化に向けた中長期的な取組み方向の当面の検討について

【これまでの検討】 H28.4.19の第3回副首都推進本部会議で「副首都の概念」をとりまとめ

副首都・大阪の意義

「大阪から日本を変える、大阪から世界へ発信する」

東京を頂点とするピラミッド型の国土構造・社会構造・価値観を大きく転換し、わが国が抱える社会課題を解決する先導役を果たすため、東京とは異なる個性・新たな価値をもって、世界で存在感を発揮する「東西二極の一極」として、平時にも非常時にも日本の未来を支え、けん引する成長エンジンの役割を果たす

副首都・大阪が果たすべき役割

- (1) 西日本の首都
- (2) 首都機能のバックアップ拠点
- (3) アジアの主要都市
- (4) 民都

【これからの検討】上記の「概念」をもとに、具体的に副首都に求められる機能や必要な仕組みをTF（タスクフォース）で検討

- ・TFは府市の職員で構成（副首都推進局、大阪府政策企画部、大阪市政策企画室など）
- ・関係部局は個別の検討課題に応じて参画
- ・特別顧問からは必要に応じて意見・助言をいただく。また検討分野の有識者にも必要に応じて協力を求める。

TFの体制イメージ

副首都機能面検討TF

都市魅力・学術文化

(例) 都市格向上、インバウンド、人材集積

情報・メディア

(例) メディア強化、海外発信、イベント開催

産業・経済

(例) 拠点性の向上、イノベーション創出、投資・貿易促進

都市インフラ・防災

(例) 際内インフラ強化、ネットワーク強化、首都機能バックアップ
など

副首都制度面検討TF

地方分権

(例) 権限移譲、省庁等移転

行政連携のあり方

(例) 連携の内容としくみ

民間活動、公益活動

(例) 公民連携、第3セクター、フィランソロピー

など

TFの検討スケジュールイメージ

：TF ：副首都推進本部

5月	6月	7月	8月～9月
副首都推進局を中心に検討項目等のたたき台を検討	関係部局との意見交換など各項目の整理		TFの検討状況を本部会議へ報告 副首都化に向けた中長期的な取組み方向の中間整理案を提示 経済界からの意見聴取 議会とのディスカッション
	外部の専門家に個別ヒアリング等を実施		